



平成26年10月15日

国土交通省中部地方整備局

清水港湾事務所

清水港で「みなと」を学習しよう！ ～県外小学校児童が清水港を見学しました～

1. 概要：

国土交通省中部地方整備局清水港湾事務所では、地域のご希望を踏まえて担当している港の港湾整備の現場や港の様子を見学していただいています。

平成29年度開通目標の中部横断自動車道は、静岡県と山梨県がより身近な存在となり、活発な交流のきっかけとなるものと期待されています。そうした中で、山梨市立三富小学校の5、6年生児童15名と、引率の先生方3名が総合的な学習の時間の一環として清水港を訪れました。

生徒たちは、事務所職員から港の概要説明を受け、普段は見るのが難しい、国際コンテナターミナルの荷役作業や防波堤の本体となる巨大なコンクリートの箱（ケーソン）の製作場見学、防波堤工事の作業現場や稼働する作業船を船上から見学することを通じて、自分たちの生活にとって貿易と港の果たす役割とその重要性について学習しました。

2. 見学場所・見学の様子

別紙

3. 日時・場所

日時：平成26年10月10日(金) 10:20～14:30

場所：清水コンテナターミナル、ケーソン製作場及び清水港内（船上）

4. 配布先

中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、静岡県政記者クラブ、静岡市政記者室、
港湾空港タイムス、港湾新聞、日本海事新聞、海事プレス

5. 問合せ先：

国土交通省 中部地方整備局 清水港湾事務所 企画調整課 野村、江口、赤松

電話 054-352-4148

別紙

○見学場所



○見学の様子



＜陸上見学の様子(ケーソン製作場)＞



＜船による港内見学の様子＞



＜コンテナターミナル見学の様子＞



＜コンテナターミナル見学後の集合写真＞

【参加者の感想】

- ・ コンテナの大きさに驚きました。(女子)
- ・ ケーソンを見て、船からもいろいろ見れて楽しかった。(男子)
- ・ ヨーロッパのコンテナ船でコンテナが6000個くらい入ることに驚いた。(男子)
- ・ 普段海を見ることがないので、貴重な経験をさせていただきました。(女性教諭)